



WebRAG型 AIチャットボット

“届く情報”とは

FAQや検索機能があっても、ユーザーがたどり着けなければ情報はないのと同じです。
“届く情報”とは、ユーザーが自分の言葉で問いかけて、迷わず必要な情報にたどり着ける状態を指します。

誰でも簡単に 使えてユーザーの 自己解決を促進

ITリテラシーを問わず、ユーザーは自然な言葉で質問可能。
検索ワードやページ階層に縛られず、直感的に情報にアクセスできます。

Web全体を クロール 常に最新情報に対応

HTMLもPDFも対象に含め、情報の追加や更新も自動反映。
FAQの整備やスクリプト設計は不要で、運用負荷が大幅に軽減されます。

信頼性のある回答と 誤答防止の仕組み

生成された回答には出典URL付き。
ドリルダウン型の追加質問により、誤った内容の生成を防ぎ、精度を高めます。

WebRAG型AIチャットボットが解決する課題

1. FAQや検索を用意しても、問合せが減らない

情報が“ある”だけでは、ユーザーに届かないギャップをAIが解消

2. Webコンテンツが増えすぎて、整理・運用に手が回らない

サイト全体をクロールし、情報をAIで活用。メンテナンスも不要

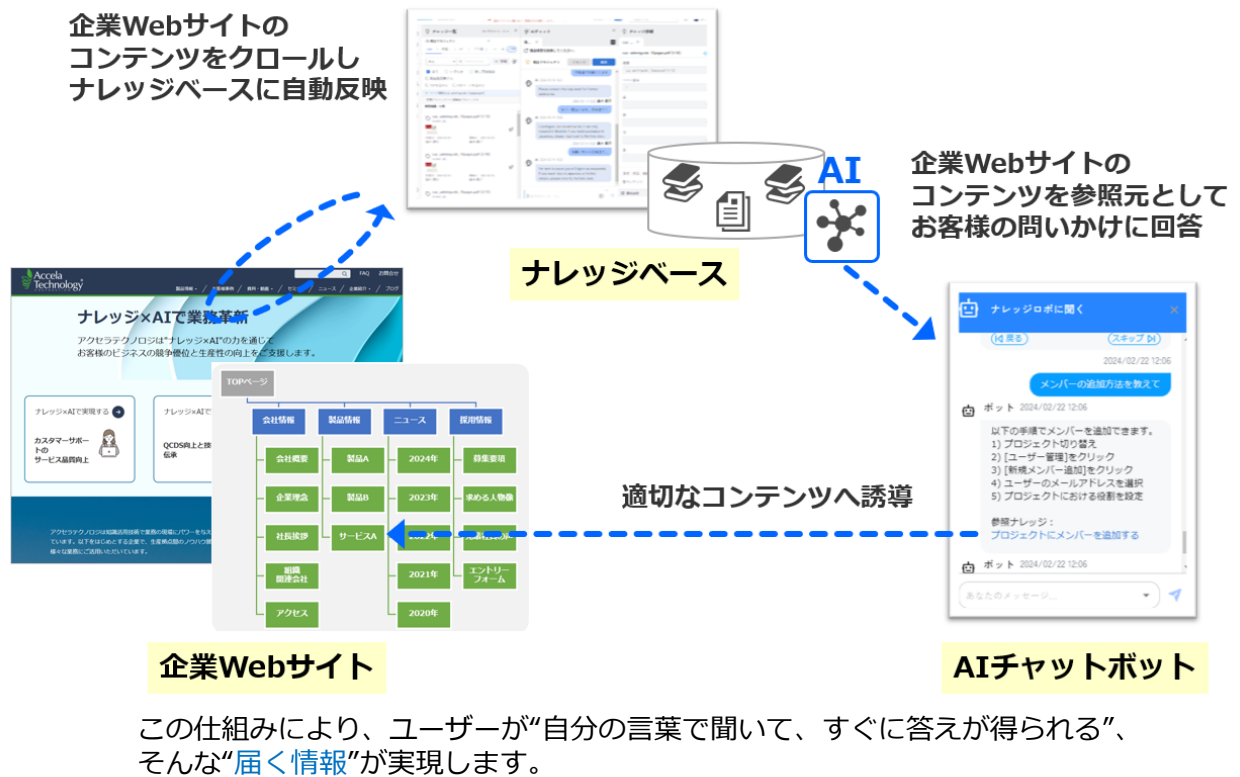
3. 誤答リスクや運用負担が大きく、チャットボット活用が進まない

高精度な回答と“導入しやすさ”を両立する新しい選択肢



解決のポイントは
裏面へ！

■ 適用イメージ



■ 課題解決のポイント

① 学習不要！手間なく簡単導入

スクリプト作成や事前学習不要で、既存のWebサイトをそのまま活用して迅速にAIチャットボットを設置できます。起点となるURLを指定するだけで対象ページを自動的にクロールし、情報を構造化してインデックス化。Web情報を更新すればAIの回答内容に自動で反映されるため、更新・管理の手間がかかりません。

② Webサイト情報をもとにAIがユーザーの質問に対応

ユーザーが話し言葉で質問を入力すれば、Webサイトの大量の情報の中からAIが最適な回答を導き出します。回答には出典となるURLが含まれるため、情報の信頼性も高く、安心して利用できます。

③ ドリルダウンRAGで精度の高い対話を実現

曖昧な質問には、ドリルダウンRAGによって、「製品Aですか？製品Bですか？」というように追加の絞り込み質問を提示し、より明確な情報を引き出します。これにより、生成AIにありがちな“見当違いの回答”を防ぎ、実用性の高いチャット体験を提供します。

④ Webサイトの継続的最適化でサービス向上

アクセスログや問合せ履歴を分析して、頻繁に利用される情報や不足している情報を特定します。この結果に基づき、Webサイトを継続的に改善、強化することで、お客様満足度を高め、競争力の高いサービス提供につながります。

【ドリルダウンRAG®】特許出願中 ドリルダウン検索で絞り込んだナレッジをAIに参照させることで、精度の高いAI活用を実現する技術

掲載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴマークなどは、該当する企業もしくは組織の商標または登録商標です。